

## 大会会長ご挨拶

# 一陽来復

～2015年関東実業団大会によせて～

全日本・関東実業団少林寺拳法連盟  
会長 渡邊 信



本日ここに2015年度少林寺拳法関東実業団大会がつつがなく開催されましたこと、大会会長として慶賀に堪えません。ご来駕賜りました皆さま、拳士諸氏に厚く御礼申し上げます。

今年は実業団連盟として嬉しいニュースが目白押しの年です。まず、四国実業団連盟が年内に設立される予定です。新たな地方実業団連盟の設立は実に36年ぶり、大変な偉業だと思います。また、10月には愛知県において全日本実業団連盟設立45周年記念イベントが開催されます。そのどちらにも関東実業団連盟の方々が全面的に協力していると聞いて大変誇りに思っています。開祖が地上に築こうとした「理想境」の夢、それを心に描く時、私たちには揺るぎない信念と行動力が与えられるはずです。10月の記念イベントが盛会となり今後の活力となるよう、ひとりでも多くの皆さんが地域の壁を乗り越え開祖の夢の実現に向かって行動していただけることを期待しています。

いつの時代にもその時代を表すキーワードが存在します。昨今では「ソーシャル・ネットワーク」がその一つかと思えます。この「ソーシャル」の意味するところは「人と人との交流を基盤とした」と言えるかと思えます。となると「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」を標榜する少林寺拳法は60余年前の創始時からこのソーシャルを実践してきた団体と言えます。中でも職場のすぐ隣にソーシャル・ネットワークを持ち、有機的に連携させている実業団拳士の皆さんこそが時代の先駆者としてそれを実践し、その恩恵にあずかってきた方々だと言えます。一陽来復、景気回復の兆しが見えるなかで迎えた関東実業団連盟設立45周年の年、ここを起点に力を合わせ更なる成長を遂げたいと思えます。

最後となりましたが、今日の大会のため入念な準備をされてきた出場拳士の華麗な技に期待するとともに、大会準備に携われられた実行委員並びにスタッフの皆様へ感謝と敬意を表し、ご挨拶とさせていただきます。

合掌

(財形信用保証株式会社 代表取締役会長、元厚生労働省厚生労働審議官)